

ぼくの前歯

富士見丘小学校 二年三組 三好 穂岳

「ツルッ、ズキーン。」

ぼくは、この時にいたくて、びっくりして、
ないた。

これは、二〇二一年一月三日、ぼくが三才
の時のできごとだ。

ぼくが家のろう下で走り回っているとき、こ
ろんでしまった。

その時、かおからころんで、歯を折った。

血が口に流れこんできた。

ぼくは、まだ小さかったから、何が起こっ
たかよくわからなかった。

そして、びっくりしたお父さんとお母さん
がぼくの口の中を見て、

「折れてる、やばい、どうしよう。」

と、言った。

それから、お母さんがあわてて「七ー一九
に電話した。」

お正月なので近くの歯医者さんがあいてい

なかつたし、コロナウイルスがはやっ
ていて、病院に行くのもたいへんなときだ
ったので、お母さんはとても不安だ
ったそうだった。すぐに杉並区
歯科保健医リョウセンターに
行って、折れた二本の前歯を
みてもらった。機械がたくさんある
大きな部屋に、すごくやさしい
先生がたくさんいて、いったか
ったね。がんばったね。と、
ぼくもなぐさめてくれた。

はい、めてレントゲンも一人で
がんばってと、た。

ぼくは、いたくてとてもつら
かったけど、お母さんは、ホッ
としたようだった。

ぼくの前歯は歯ぐきの中で折
れているので、大学病院でみて
もらった。方がいと言われた。
一月四日からあいている大学
病院を先生が調べて教えてく
れた。

一月四日、タクシーで大学病
院に行った。小児歯科は、大
きな部屋に十六台くらいし
んさつ台とパソコンがならん
でいて、子ども

がたくさんいた。

泣いている子もいて、ぼくは不安になった。

大学病院の先生は、ぼくの前歯をみて、抜くか、そのままにして様子を見るか、どちらにするかぼくに選ばせてくれた。

ぼくは抜くのがこわかったので、そのままにすることも選んだ。

それから五ヶ月に一回、大学病院に通って、先生にみてもらった。

食べ物を小さく切って、前歯を使わないで

食べることも、歯みがきもかんばった。

二〇二三年八月に前歯が二本とも抜けて、大人の歯がちゃんと生えてきたので、大学病院はそつぎようした。

大人の歯が無事に生えてきて、よかったな
と思っただ。

ぼくの今九十四才のひいいちゃんは、働き者で元気だ。その元気のひみつが知れたか
たので、聞いてみた。

ひいいちゃんは、

っなんでもかんで食べる事う。がッハッハ
とわらっていた。

そして、野沢菜をグリグリかんで食べてい
た。お母さんより歯が強そうだと思った。

バーベキューの時には、やきそばをもりも
り食べていた。

ぼくは、やきそばをもりもり食べているひ
いひいちゃんみたい長生きしたいと思った。
自分の歯を大切にしてい、なんでもよくか
んで食べたいと思った。

折れた前歯のおかげで、歯みがきがんば
れるようになったし、歯についてもよくしれ
た。

無事に生えてきた歯を大切にしてい、健康で
長生きしたいと思った。